

精神看護学実習

[実習] 第3～4学年 後期～前期 必修 2単位

《履修上の留意事項》遠隔授業のみ実施

《担当者名》○八木 こずえ 宮地 普子 中安 隆志

【概要】

精神に障害をもつ人々について、「生活」の観点から理解し、彼らに必要な看護活動を考え、多職種との協働ができる能力を養うことを目的とする。精神科の病棟において1名の入院患者を受け持ち、必要な看護の方向性を導き出す。また、地域生活を営む人々とのコミュニケーションをはかり、精神障害からの回復（リカバリー）について考える。

【学習目標】

1. 人間を生物的、社会的、文化的、歴史的、倫理的等の諸側面から捉えることを通し、精神に障害をもつ人々とその「生活」についての理解を深める。
2. 精神に障害をもつ人々とのコンタクトを通して自己洞察を深め、コミュニケーションや行動の様々なありようとその意味について考えることができる。
3. 回復の段階や生活環境に応じて、必要な看護を実践するための思考のプロセスと実践プロセスを学ぶ。
4. 精神に障害をもつ人々の回復と生活を支える看護の役割及び多職種との協働について考えることができる。
5. 精神医療保健福祉の現状の課題と将来の展望について考えることができる。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1週目	オンライン実習 1週目（月～金）：精神障害者の理解、および精神科の治療や看護の理解を深める	視聴覚教材およびカンファレンスを通して、精神科病院や精神障害をもつ患者のイメージをもつ。ロールプレイや運動プログラムの実際から、精神科における治療および看護の一部を体験する。	八木 宮地 中安
2週目 （月・火）	オンライン実習 精神障害をもつ患者の看護過程を展開する。	1週目の学習を通して理解したことを踏まえ、看護アセスメントおよび看護計画を立案し、精神障害をもつ患者への看護ケアの方向性を検討する。	八木 宮地 中安
2週目 （水～金）	オンライン実習 地域の社会資源を活用して生活している人々の実際を知る。	視聴覚教材により地域の社会資源の目的と支援の実際を知る。また地域で生活している当事者の理解を深め、精神障害からの回復（リカバリー）について考える。	八木 宮地 中安

【評価方法】

実習状況および提出物をもとに総合的に評価する。

目標到達度80%、実習参加姿勢20%

→レポート課題60%、小テスト10%、実習参加姿勢30%

【備考】

参考書：阿保順子編集 統合失調症急性期看護マニュアル すぴか書房 2009年
阿保順子 精神科看護の方法 医学書院 1995年
田中美恵子編著 精神看護学 学生・患者のストーリーで綴る実習展開 医歯薬出版株式会社、2015年

【学習の準備】

精神看護学、精神病態論、および精神看護学演習の学習内容を教科書と配付資料をもとに復習する。
ガイダンスで説明した事前学習に取り組む。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2, 1, 3, 4

【実習期間・実習施設】

実習期間：3年生後期～4年生前期の指定された2週間

1. 2020年5月18日～2020年5月29日

2. 2020年6月8日～2020年6月19日

3. 2020年6月29日～2020年7月10日

4.2021年1月12日～2021年1月22日

5.2021年2月8日～2021年2月19日

実習施設：旭山病院　石金病院　五稜会病院　林下病院　精神保健福祉関連施設

【実務経験】

八木こずえ（精神看護専門看護師）、宮地普子（看護師）、中安隆志（精神看護専門看護師）

【実務経験を活かした教育内容】

精神科病院での看護師、精神看護専門看護師の実務経験を活かし、実践的な教育を行う。